

2025年度 後期 Global seminar 報告書

2025年12月15日(月)・18日(木)・19日(金)のランチタイムに、後期Global seminarが開催されました。

12月15日(月)

2回生 内浦咲良さん 小國実咲さん 坂田穂香さん 「GLEP 海外研修ルーマニア編」

今年の3月に約10日間のGLEP ルーマニア研修に参加された際の滞在生活の詳細や、現地の大学生との様々な文化交流体験についてお話をいただきました。

出発前から文化的背景や価値観について調べていたことと、実際に研修を通して分かったことを踏まえ、ルーマニアでは温泉が療養目的に用いられていること、英語教育が充実していること、年中行事とその意味合いが日本と異なることについてそれぞれにまとめ、滞在最終日に英語でプレゼンテーションを行うなど、充実した研修となったことをご報告いただきました。



12月18日(木)

University of Texas at Austin, School of Nursing 准教授 Jung Kwak先生
「テキサス大学のご紹介、質問コーナー」

テキサス大学について、豊かな環境で幅広い分野の教育が行われ、看護学部では、研究やキャリアアップについてもフォローが整っていることなどをご紹介いただきました。

アメリカでは一般的に、看護学部卒業後、国家試験を受けるタイミングを自分で選ぶことができ、合格後に各自で就職活動を行うそうです。臨床研修を受けてから専門分野を選ぶ方もいれば、外国から来た人の場合はそれまでのキャリアを生かした分野に初めから配属になる方もいて、教育と同様に就職についても多様な選択があることを教えていただきました。



12月19日(金)

2回生 岸川カレンさん 山田望永さん 吉原明衣さん 「ナマステ！インド！」

今年の3月に約10日間のGLEP インド研修に参加された際に、ガンジーやマザーテレサの活動に関する福祉支援施設への訪問や、現地の大学生との交流を行ったことについてお話をいただきました。

滞在中、インドの歴史についての学びが深まったことに加え、食事や季節の行事といった文化の体験を通し、日本との違いを知ただけでなく、インドが抱える課題や先進的な部分についても肌で感じられた研修となったことについて語っていただきました。



1日目は34名、2日目は42名、3日目は39名の学生が参加し、海外生活体験から文化の違いやその背景についての理解を深め、アメリカの大学の看護教育についても知ることができ、貴重な機会となりました。

看護学部 国際交流推進担当